

囲碁入門講座通信 令和2年 第8号



報告:有楽斎

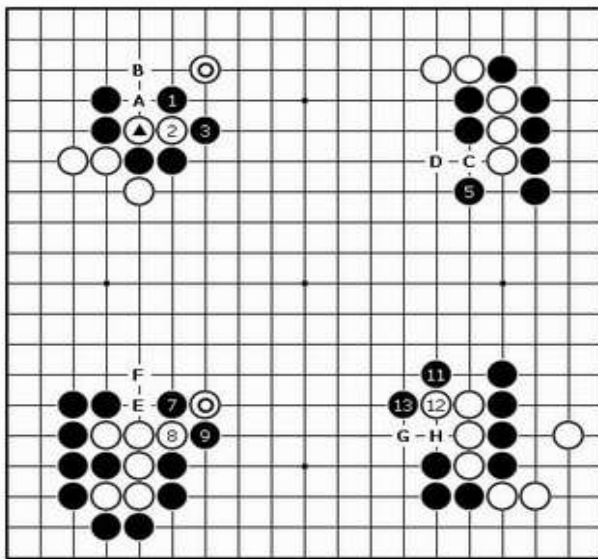
毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの蜜」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中です**。(棋士名は碁に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用の練習問題を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

初めての手筋—ゲタ

普通ではうまくいかないことでも、技を使うとうまくいくことはスポーツや仕事などの分野にたくさんあります。囲碁を打つ上での技を「手筋」と呼びます。手筋をどれだけ実戦で使いこなせるかが、上達の鍵を握ります。

囲碁の手筋は数えきれないほどたくさんありますが、次に説明するゲタは、たいていの人々が最初に教わる手筋ではないでしょうか。



左上 白1子(▲印)の取り方です。白◎があるためシチョウでは取れません。そこで黒1が手筋となります。この手をゲタといいます。両にらみで、白は逃げられません。白2には黒3、白Aなら黒Bで、いずれにしても白1子は取られます。

右上 白石が3つに増えましたが、同じように黒5のゲタで、もう白は身動きができません。このあと白Cには黒Dです。

左下 白石が5つに増え、さらに◎印の白が援軍として控えています。それでも、黒7のゲタで取れているのです。

白8と出て◎につながりそうですが、黒9で白6子がアタリ。このあと白Eには黒Fです。

右下 白のダメが3つ空いているので、取るのが難しそうですが、これもゲタで取れます。黒11が急所で、白12には黒13とハネます。このあと白Gと逃げようとしても、黒Hと切って白4子がアタリになります。

5月は4回に亘り、オイトシ・ウツゲエシ・シチョウ・ゲタについて簡単に説明をいたしました。囲碁に興味を覚えられた方は、囲碁入門講座再開の節には、奮ってご参加下さい。お待ち致しております。(院生一同。なお、再開時期は現在未定です。)